

平成30年上尾市教育委員会第1回臨時会 会議録

- 1 日 時 平成30年8月9日（木曜日）
開会 午前9時00分
閉会 午前11時46分
- 2 場 所 上尾市役所7階 大会議室
- 3 出席委員 教育長 池野和己
教育長職務代理者 細野宏道
委員 岡田栄一
委員 中野住衣
委員 大塚崇行
委員 内田みどり
- 4 出席職員 教育総務部長 小林克哉
学校教育部長 今泉達也
教育総務部次長 西嶋秋人
学校教育部次長 石川孝之
学校教育部副参事 兼 指導課長 兼 教育センター所長 瀧沢葉子
教育総務部 教育総務課長 森泉洋二
小学校教科用図書選定資料作成委員会委員長 石塚昌夫
中学校教科用図書選定資料作成委員会委員長 福田哲
中学校教科用図書選定資料作成委員会道德専門部会長 西倉剛
指導課指導主事 宮田直弥
指導課指導主事 吉田朋矢
指導課指導主事 根本純江
指導課指導主事 安彦伸也
指導課指導主事 岸千里
指導課指導主事 松林剛志
指導課指導主事 熊田大樹
書記 教育総務課主幹 中釜ひろみ
教育総務課副主幹 井上建一
教育総務課主査 周曉蘭
教育総務課主査 鳥丸美鈴
- 5 傍聴人 24人

6 日程及び審議結果

日程第1 開会の宣告

日程第2 会議録署名委員の指名

日程第3 協議

平成31年度使用小学校教科用図書の採択について

平成31年度使用中学校教科用図書の採択について

日程第4 議案の審議

議案第33号 平成31年度使用小学校教科用図書の採択について

議案第34号 平成31年度使用中学校教科用図書の採択について

日程第5 閉会の宣告

7 会議録

日程第1 開会の宣告

(池野和己 教育長) ただ今から、平成30年上尾市教育委員会第1回臨時会を開会いたします。本日は、傍聴の申出はございますか。

(森泉洋二 教育総務課長) 24名の方から傍聴の申出がございます。教育長の許可をお願いします。

(池野和己 教育長) 傍聴を許可します。ご案内をお願いします。

～傍聴人入場～

(池野和己 教育長) 会議に入ります前に2点申し上げます。本日8月9日は、長崎市に原爆が投下された日でございます。原爆が投下された時刻、午前11時2分に市役所全体に黙とうの放送が入ります。会議中の場合におきましては、中断をし、黙とうをしたいと存じますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。2点目でございます。本日は、平成31年度使用教科用図書の採択について協議及び議案の審議を行います。このため、上尾市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則に基づき、石塚小学校教科用図書選定資料作成委員会委員長、福田中学校教科用図書選定資料作成委員会委員長、西倉中学校教科用図書選定資料作成委員会道德専門部会長及び指導課指導主事に出席を求めていますので、申し添えます。それでは、日程に従いまして会議を進めます。

日程第2 会議録署名委員の指名

(池野和己 教育長) 続きまして、「日程第2 本臨時会の会議録署名委員の指名」を行います。会議録署名委員は、内田委員をお願いいたします。

(内田みどり 委員) はい。

日程第3 協議

(池野和己 教育長) 続きまして、「日程第3 協議」でございます。今年度は、既に、資料作成委員会が作成した選定資料、調査研究資料、各小・中学校からの調査研究資料、各小・中学校からの保護者アンケート、平成31年度使用中学校教科用図書(道德科)調査資料、平成31年度中学校特別の教科道德編集趣意書等を配布しておりますので、委員の皆様におかれましては、すでに十分研究していただいていたことと存じます。教科用図書の採択につきましては、慎重審議の上、採択を行いたいと考えておりますので、よろしくお願いを申し上げます。それでは、協議の説明をお願いいたします。

(今泉達也 学校教育部長) 小学校教科用図書の採択につきましては、文部科学省「小学校用教科書目録」の中から、教科用図書を選定し、採択いただくことになっております。本日は、すでに配布させていただきました各資料から、資料作成委員会の研究結果をご報告申し上げます。

(池野和己 教育長) それでは、上尾市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則第5条第5項

の規定により、石塚小学校教科用図書選定資料作成委員会委員長より、平成31年度使用小学校教科用図書の採択について、調査検討事項の説明をお願いいたします。

（石塚昌夫 小学校教科用図書選定資料作成委員会委員長） それでは、小学校教科用図書の採択に係る選定資料について説明いたします。資料作成の過程でございますが、校長1名、専門的知識を有する教員1名により専門部会を設置し、すべての教科書発行者の教科用図書について調査研究し、その結果を資料として委員会に報告していただきました。その報告をもとに、学校の調査研究結果、教科用図書展示会におけるアンケートも参考にしながら作成したものが選定資料でございます。以上です。

（池野和己 教育長） それでは、上尾市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則第9条第2項の規定により、調査検討事項の説明をお願いいたします。

（石塚昌夫 小学校教科用図書選定資料作成委員会委員長） それでは、平成31年度使用小学校教科用図書の採択につきまして、教科ごとにご説明を申し上げます。国語、書写の教科につきましては学校教育部指導課宮田指導主事から、社会科、地図の教科につきましては同じく吉田指導主事より、算数・音楽の教科につきましては同じく根本指導主事より、理科の教科につきましては同じく安彦指導主事より、生活の教科につきましては同じく岸指導主事より、図画工作・家庭の教科につきましては同じく松林指導主事より、体育の教科につきましては同じく熊田指導主事よりご説明いたします。

（宮田直弥 指導課指導主事） 国語につきましては、5者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。東京書籍は、基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、単元のねらいを明確にし、ねらいに即した最適な言語活動を単元名として掲げています。1教材1領域で学習のねらいを重点化し、つけたい力を「言葉の力」として明示しています。習得した知識・技能の活用を図るために、各単元に既習事項との関連を示す「つながる」欄を設け、また、他教科や実生活に活用できるような必要に応じて「ひろがる」欄を設けています。資料については、鮮明な写真と想像を広げるカラフルな挿絵が豊富に使われています。1～4年は上下巻の二分冊、5・6年は合冊です。学校図書は、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、系統的・段階的に上学年につながるような、また、各学年夏休み前までに基礎的な能力の獲得を目指せるような学習の配列にし、国語で獲得した力を他教科等で効果的に発揮できるように配慮されています。習得した知識・技能を活用するために、はじめに「この単元の学習の流れ」が載せてあり、具体的でわかりやすい学習の見通しを示しています。資料については、興味がわくような挿絵や鮮明な写真が豊富に使われています。各学年、上下巻の二分冊です。三省堂は、基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、1教材1領域にねらいを焦点化し、児童が明確な目標をもって学習に取り組めるようにしています。「覚えておきましょう」欄を設け、基本的な言語技能を定着させ、他の学習でも活用できるようにしています。習得した知識・技能の活用を図るために、「読むこと」で学習した技能が、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の表現活動で活用できるように工夫しています。資料については、思考力や表現力を育むための図表や写真が多く使われています。1年は上下巻の二分冊、2～6年は合冊と資料の分冊です。教育出版は、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、言語活動が分かる目標を設定し、学習の展開や段階を明示して見通しをもって学習を進められるようにし、振り返りの過程も位置づけています。「ここが大事」欄を設け、学習のポイントや学習用語を解説しています。習得した知識・技能の活用を図るために、総合的な単元が配列されています。各学年「〇年生で読みたい本」として約80冊の図書を紹介しています。資料については、大きく鮮明な写真と挿絵が豊富に使われています。各学年、

上下巻の二分冊です。光村図書は、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、学習内容を領域ごとに絵記号を用いた一覧で表示し、明確化しています。単元のねらい、学習の展開や段階を明示し、児童が学習目的を意識し、見通しをもって学習できるように工夫しています。習得した知識・技能の活用を図るために、巻末教材にも多彩な資料があり、豊かな語彙の拡大や読み広げ、読書の促進、他教科との関連が図れるような工夫をしています。資料については、教材の内容理解を助け、イメージを広げるための絵や写真等が多く、適所に使われています。1～4年は上下巻の二分冊、5・6年は合冊です。以上、各発行者に共通する点といたしまして、基本的な言語能力や伝え合う力の育成、児童の主体的な学習、習得と活用、「伝統的な言語文化」への配慮がなされ、言語活動が今まで以上に充実していること、見通しをもって学習し、学ぶ楽しさを味わえるように工夫していることが挙げられます。これで、国語の報告を終わります。書写につきましては、6者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。東京書籍は、基礎・基本の定着を図るために、3段階の学習の手引き「調べよう」「確かめよう」「広げよう」を設けて学習過程を明確にし、理解、練習、定着と段階的に学習が進められるようにしています。低学年では、シールを活用して楽しく学習できるようにしています。教科書のサイズは、B5判より横が2.8cm 広くなっております。特徴として、学習過程の明示や吹き出し等に親しみやすい動物のキャラクターが登場し、学習の進行を助けています。学校図書は、基礎・基本の定着を図るために、学習する事項を単元名にしており、さらには、学習のめあてに即した解説を半紙原寸大の手本につけています。また、全ての学年の各単元に自己評価欄を設定し、自ら考え自ら学ぶ力の育成を適切に配慮しています。特徴として、身近なキャラクターの吹き出しにより学習のポイントが分かりやすいように示され、また、その部分を取り出して大きく示しています。三省堂は、基礎・基本の定着を図るために、書き込み欄を設け、学んだことをすぐに書いて確かめられるようにしています。見通しをもって学習できるように、学習の流れを分かりやすく示し、学習過程の中で、考えたり判断したりする活動を多く取り入れています。「ひろげよう」では、実生活に関連させた教材を多く提示しています。特徴として、児童に親しみやすいイラストや鮮明な写真を用いて、学習意欲を高めるようにしています。教育出版は、基礎・基本の定着を図るために、「ここが大切」欄が設けられています。また、「知りたい文字の世界」のページでは、発達段階に応じてテーマを設定し、文字に対する興味・関心を促し、「はってん」コラムでは、興味・関心、習熟度に応じて学びの意欲に応じて個に応じた学習ができます。4年生以上では「課題選択」教材を設けています。特徴として、親しみやすいキャラクターを使い、吹き出しの形でポイントを解説したり、筆使いのポイントを楽しく説明したりしています。光村図書は、基礎・基本の定着を図るために、「学習の進め方」として、導入・理解・確認・自己評価という学習の流れを、巻頭に示しています。複数の色使いにより筆使いが理解しやすいようにしてあります。資料や写真類も多く、各教科と関連した教材もあり、主体的学習の手助けとなります。写真やイラストも豊富で視覚的に理解できます。特徴として、学習のポイントを示す「たいせつ」のイラストや課題解決のヒントを出すキャラクター等が使われ、主体的な学習ができるよう工夫しています。日本文教は、基礎・基本の定着を図るために、各学年の発達段階に即した構成になっています。各単元とも易しいものから難しいものへ段階的・系統的に学習が配列されています。全学年において、書写で身につけた基礎・基本を、日常生活に、国語や他教科の学習に、総合的な学習の時間に生かしていく構成になっています。特徴として、学習のめあてにそったポイントを、人気のキャラクターを用いた吹き出しで示しています。以上、各発行者に共通する点といたしまして、硬筆・毛筆における基礎的・基本的技能の確実な習得、児童自らが主体的に学習し、書くことが好きになることの工夫、書写学習で身に付けた技能を日常生活に活用していくこと等への配慮がなされ、書写を通じて生きる力の育成に努力していることが挙げられます。これで書写の報告を終わります。

(吉田朋矢 指導課指導主事) 社会につきましましては、4者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。東京書籍は、各学年の最初の単元で、学習問題や学習過程が明示されており、全体を通して問題解決的な学習を強く意識した構成となっています。各学年の学習事項を踏まえ、社会科学の興味や関心を喚起する事例が多く取り上げられており、主体的な学習に取り組むことができるように配慮されています。「まなび方コーナー」によって、社会科のスキルが身に付けられるよう工夫されています。各種資料も質、量ともに充実しています。教育出版は、各学年の巻頭に「教科書の使い方」、「学びのびき」を掲載し、問題解決的な学習の進め方を示し、見通しをもって主体的な学習ができるよう工夫されています。教科書に直接書き込むなど作業的、体験的な学習を学習活動の中に効果的に取り入れ、意欲付けが図られています。小單元ごとに「まとめる」を設定し、キーワードに着目して学習内容を振り返ることができるようになっており、学び方と基礎・基本の定着が図られるよう配慮されています。光村図書は、ページ数、資料が厳選され、5・6年生は学年1冊の構成となっています。「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」と学習過程が提示され、問題解決的な学習が進められるように構成されています。語句の説明を行うことで、基本的知識の定着を図るとともに、発展的な学習にも重点をおいて、多くのページ数を割いています。単元の導入部では、児童の意欲を喚起するような拡大資料や写真を用い、主体的な学習につなげるよう配慮されています。日本文教は、学習の仕方や教科用図書の使い方が具体的に示されており、一人学習や発展的な学習ができるよう配慮されています。「学び方・調べ方コーナー」では、学年の発達段階に応じた学習内容、学習方法や技能、基礎的・基本的事項の定着が図られるよう工夫されています。「大きくジャンプ」と位置付け、発展的な学習の内容を充実させています。吹き出しを活用し、学習内容の定着や思考の助けとなるよう配慮した構成となっています。以上、各発行者に共通する点といたしまして、社会科は、問題解決的な学習の展開が重視されていますが、その点を踏まえ、名称に違いはあるものの、学習問題や学習過程をわかりやすく提示し、問題解決的な学習が展開されるように配慮した構成となっております。また、学び方についても、主体的な学習となるよう配慮されています。用語の解説も工夫しながら基礎的・基本的事項の定着が図られるような構成になっていることが挙げられます。これで、社会の報告を終わります。地図につきましましては、2者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。東京書籍は、地図の見方などの基本的な事項が「地図帳の使い方」として巻頭にまとめて提示されており、都道府県の区分などとともに、発達段階に応じた調べ方の指導ができるようになっていきます。A4判の装丁であることを活かして、基本図の範囲も広く、文字も大きく見やすい書体になっています。地図と写真やイラストを組み合わせ、多面的・多角的な見方ができるように配慮されています。最新の情報を掲載し、学習意欲を高めるような工夫が見られます。帝国書院は、都道府県の区分や地図の約束事などが巻頭にまとめて示されており、発達段階に応じた調べ方の指導ができるようになっていきます。学習内容に即して欄外を有効に使い、写真やイラストなどの資料を効果的に配置し、多面的・多角的な見方ができるように工夫されています。関東地方や北アメリカに重点を置き、多くのページを割くなど、構成上の工夫も見られます。基本図には、土地利用や学習上必要と考えられる地名などが多く掲載されています。以上、各発行者に共通する点といたしまして、社会科の学習内容を踏まえた学び方、地図の使い方、資料が掲載され、社会科の学習で活用しやすい構成となっています。基本図に関しては、地形図と土地利用図を合わせて表現したものとなっています。中学校学習指導要領社会科を踏まえて、小学校段階での日本の範囲、領土の学習も重点をおいて構成されていることが挙げられます。これで、地図の報告を終わりにいたします。

(根本純江 指導課指導主事) 算数につきましましては、6者が発行しております。これらを研究しました

結果を報告いたします。東京書籍は、算数科の目標からみますと、算数的活動が単なる活動に終わることなく、ねらいが明確に伝わり、数理的な処理のよさに気付くことができるように配慮されています。また、「算数ができる、分かる、使える」ことを重視し、問題解決的な学習を中心とした構成になっており、そのための学び方や学習の手順が例示されています。さらに、児童が目的意識をもって主体的に取り組めるよう、身近な内容に関わる写真や絵が多く、吹き出しが効果的に使われています。言語活動の観点では、図や式による解決方法を説明するなどの活動が示され、その系統的な活用が図られています。日常生活との関連では、随所に算数を生活場面に生かす問題や話題が示されています。大日本図書は、算数科の目標からみますと、算数的活動を充実させ、各領域の内容が活動を通して学習できるように配慮されています。言語活動の観点では、問題の解決の仕方が複数示され、一人一人が考えをもち、比較・検討しながら話し合いができるように工夫されています。また、自分の考えを記述できる形式をとり、児童が意欲をもって自ら学ぶ態度を培うよう、問題解決型の展開を中心として構成されています。日常生活との関連では、学習した内容を具体的な生活場面で確かめたり、日常生活の中から算数的事象を探してみたりする活動が盛り込まれています。問題を解くときの手段として、数直線の書き方を丁寧に扱い、数直線を用いて解決する表現が取られています。教科書の仕様については、図や表は色づけされ、自分の考えや理由が書き込めるように工夫されています。学校図書は、算数科の目標からみますと、児童が興味・関心をもって自主的・自発的に学習できるように生活の場面を設定し、具体的操作、体験活動などの算数的活動を充実させた構成となっています。言語活動の観点では、自分の考えをもち、他者と関わりながら行う問題解決的な学習を中心とし、発表や説明などの活動を取り入れるように配慮されています。学習への取組を促進するため、単元前に学びの準備のページが設けられ、学習内容の確認ができるように配慮されています。また、巻頭に「算数でよく使う考え」のコーナーが設けられています。繰り返し学習の観点から各学年に「倍の計算」という特設単元を設け、重点的に取り上げて学習内容の定着が図れるように工夫されています。教科書の仕様については、6年に「中学校へのかけ橋」として分冊が用意されています。教育出版は、算数科の目標からみますと、作業的・体験的な活動や考えたり説明したりする活動など、算数的活動を重視しています。また、児童が主体的な学習を通して知識や技能を獲得し、活用できるように配慮されています。言語活動の観点では、随所に大切な考え方や学び方を示し、具体的な学習場面を通して一人一人が考えをもち、学び合いができるように工夫されています。生活や学習に活用するという観点では、単元の終わりに学習した内容を活用する問題が設けられ、学習内容を活かし、深めることができるように工夫されています。学習内容の定着を図るために、各単元のまとめの振り返りが「4コマ漫画」で示されています。また、ページ下部にクイズなどの豆知識のコーナーがあり、児童への情報が多く記載されています。啓林館は、算数科の目標からみますと、児童が主体的に取り組めるよう、学びのめあてを示すなど問題解決型の学習を中心に構成されています。また、「学びを生かそう」のコーナーでは、具体的な場面を示して問題解決の方法を考えたり、実験的に確かめたりする活動を取り入れています。活用に関しては、系統性を重視した問題や身に付けたことを活用する特設ページが配置されています。言語活動の観点では、学習の進め方や話し合いの仕方、学習の感想が示され、児童が目的意識をもって学習を進める際の配慮がされています。本教科書の特徴として、巻頭に保護者に向けてのメッセージが掲載され、家庭との連携を図っていること、また、巻末の切り取り用教具は、児童に親しみやすい図柄となっていることが挙げられます。日本文教は、算数科の目標からみますと、児童による主体的な学びを重視し、問題解決型の学習を中心に構成されています。また、「いち・に・算活」というコーナーを随所に設け、作業的・体験的な活動や学習したことを実際の場面に活かせるような算数的活動の内容が具体的に示され、算数のよさを感じられるように工夫しています。言語活動の観点では、学び方や発表の仕方、話し合いなどの観点が示され、解決・発表・話し合いなど

の活動を行う際の配慮がされています。本教科書の特徴として、各ページの端の部分の色づけし、ヒントや吹き出しなどの学習の手がかりとなることや、「もう一度考えよう」という学習の振り返りができるような問いを示しています。教科書の仕様については、全学年、教科書の横幅が広がっています。以上、各発行者に共通する点といたしまして、いずれも、「算数科の目標」を達成させるのに十分であり、算数的活動や言語活動を重視し、解決の仕方を説明したり、話し合ったり、学び合ったりする活動が盛り込まれ、問題解決的な流れを取り入れた構成になっていることが挙げられます。これで、報告を終わります。

(安彦伸也 指導課指導主事) 理科につきましては、6者が発行しております。信州教育出版は、見本の本を送付しないということでした。したがって、調査できず、5者を研究しました結果を報告いたします。東京書籍は、問題解決の過程を色のラインで示し、学び方のイメージを持てるように配慮しています。安全に配慮が必要な箇所には赤の「きけん」マークを記載し、注意を促しています。実験・観察では、児童が主体的に行えるように、手順や用意する物をわかりやすく示し、実験の進め方などに重点が置かれています。単元のおわりにまとめを設け、学習内容の定着や活用する力を重視しています。文字の大きさは比較的大きめで見やすい紙面構成となっています。大日本図書は、はじめに「理科の学び方」で、問題解決の流れを示し、見通しをもった学習を進めることができるようにしています。安全に配慮が必要な箇所には「注意」マークを記載し、注意を促しています。実験・観察では、方法や結果の記録などがわかりやすく示されています。下位学年の学習内容を記載し、振り返りができるように配慮されています。学習内容に関連した解説や資料等を多く掲載し、詳しく説明が記載されています。学校図書は、巻頭で、学習の流れを示し、見通しをもって学習に取り組めるようにしています。前学年までの既習事項について振り返り、学習内容の系統性を重視しています。安全に配慮が必要な箇所には「注意」マークを記載し、注意を促しています。観察・実験では、準備品をわかりやすく示し、児童が主体的に調べられるようにしています。語句や名称の説明や科学者のイラストを効果的に掲載し、知識・理解の定着にも配慮がされた構成としています。教育出版は、巻頭で「学習の順序、学び方」をわかりやすく示すことで、見通しをもって学習できるように配慮されています。「注意」「危険」マークや裏表紙に「安全の手引き」を掲載し、安全指導の徹底を図っています。実験・観察では、準備品をわかりやすく示すとともに、問題解決の学習の流れを統一し、主体的に学習が進められるように工夫をしています。単元末では、学習事項を確認し、既習事項を記載することで系統性を重視した構成としています。啓林館は、はじめに「学習の進め方」を示し、学習の流れをわかりやすく示しています。安全に配慮が必要な箇所には多種類のマークを使い、注意を促しています。観察・実験では、図や写真で示され、手順が1ページにまとめられ、考察を文章で表すだけでなく、絵や図を使って表現できるように工夫されています。また、別冊「わくわく理科プラス」では、自分の言葉をまとめたり、図で表したりすることで、既習事項を振り返り確認ができるようにしています。以上、各発行者に共通する点といたしまして、巻頭で、学習の流れ、理科の学び方を意識させ、問題解決の過程について見通しをもって学習できるように配慮されています。安全に配慮が必要な箇所はマークを使い注意を促しています。実験・観察の仕方、まとめ方をわかりやすく示し、工夫していることが挙げられます。これで、報告を終わります。

(岸千里 指導課指導主事) 生活科につきましては、8者が発行しております。信州教育出版は、見本の本を送付しないということでした。したがって、調査できず、7者を研究しました。結果を報告いたします。東京書籍は、学習活動や対象の選択について児童の思考の余地を設け、主体的に対象との関わりを深める構成になっております。気づきを多様な方法で表現する学習活動が挿絵や写真、吹き

出し等で示されております。活動に即し、安全やマナーに関する習慣・技能が身に付くよう「やくそく」や「注意すること」のマーク等の配置、上下巻末には「べんりてちょう」の配置等工夫されております。安心して学校生活をスタートできる手引きとして添付してある「すたあとぶっく」、野外活動に使用できる「ポケットずかん」、「べんりてちょう」等は、児童自ら関心を持ち、関わりが持てるよう工夫されております。大日本図書は、季節の変化をふまえた大単元の構成で、単元ごとに実生活との関わりを考慮し、写真や関係のある言葉、発展的な活動などを配置し、自ら生活に取り入れるよう配慮されております。「せいかつことば」が設定され、語彙力や表現力を豊かにし、思考や表現の幅を広げています。見開き右上にある活動課題の他、具体的な活動や体験につなげる例示や投げかけ等が随所であり、自分自身について考えるよう工夫されております。上下巻末や単元内に設けられている「がくしゅうどうぐばこ」には、道具の使い方や動植物等の情報が掲載され、主体的な活動を促すよう工夫されております。学校図書は、活動のねらいを明確にし、内容を「探検」「遊び」「栽培」「飼育」「成長」の五つの活動領域に整理された大単元構成となっております。活動の内容毎に関連を持たせ、目的と見通しを持って活動できるよう配慮されています。巻末には「学び方図かん」があり、豊富な資料から児童が興味を持ち、主体的に学ぶことができるように工夫されております。「ものしりノート」は学習体験が広がるよう構成されていて、遊び方や表現方法などが具体的に示してあります。児童同士の関わりや一人一人の思いを明確にして、成長していく様子を可視化し、自分の考えと比較できるようになっております。教育出版は、単元のはじめに詩や「おしゃべりタイム」で児童の思いや願いを示し、学習への興味を持たせ、児童自ら学習に取り組める構成となっております。国語、音楽、図工等の他教科と合科・関連が図られるよう教科マークが示されております。巻末の資料には、学習や日常生活に必要なスキルがまとめられている「ぐんぐんポケット」があります。上下巻末には「せいかつかノート」の書き込みページを設け、1年間の学習の振り返りに活用できるようになっております。「ふりかえる」で自己評価し、「おうちでチャレンジ」では学習したことを家庭や地域で広められるよう工夫されております。光村図書は、全ての単元が「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成され、児童の思いや思考の流れを大切に活動が活発に展開するよう配慮されております。その中で、生活上必要な習慣や技能が自然と身につくよう工夫されています。指示ではなく、写真や短い言葉の投げかけで子どものやる気を促しており、「どうすれば～できるかな」を設け、ヒントをもとに自ら考える力が育つような工夫がされております。上下巻末に配置された「きせつのおくりもの」では、季節の変化を大切に活動を紹介し、自然に対する興味関心を持たせるよう工夫してあります。啓林館は、単元構成が「わくわく」「いきいき」「つたえあおう」「ちゃれんじ」の4段階を繰り返す構成で、児童の思考が自然に流れ、活動や気づきが深まっていくよう配慮されております。活動の目的をキャラクターや色で示し、児童の活動や気づきを広げ、発展的に学習が進められるよう工夫されております。上下巻、別冊資料の3巻構成で、「たんけんブック」別冊は野外活動がしやすいよう持ち運びに適し、植物・生き物・遊び・安全等が紹介されております。「わくわく」「いきいき」では、危険回避能力を高めるため、基礎的基本的な生活習慣を意識したコーナーを設けております。日本文教は、多様な表現方法による様々なまとめ方の例示や児童の自立を促すアドバイスにより、学習のまとめに必要な技能を身に付けるよう配慮されております。課題に合わせ多様なカードで表現することにより、活動を振り返り、見通しを持って考えさせるようにしております。スタートカリキュラムの「いちねんせいになったら」では、学校生活の基礎基本となる7項目が掲載され、生活・安全面等、入学当初の教育活動に活用できる配慮があります。「なんでもずかん」が巻末にあり、福祉・環境、食育、防災等の資料が写真や絵で掲載され、児童の活動意欲を高めるよう工夫されております。以上、各発行者に共通する点といたしまして、児童の思いや思考を大切に活動が展開されるよう工夫されており、児童の興味や意欲を促し、主体的に学習できるよう配慮し

ています。また、生活に必要な安全やマナー等を身につけるための資料、自然や生き物等に対する興味・関心を持たせるような写真や絵等の情報を工夫して掲載していることが挙げられます。これで、報告を終わります。

（根本純江 指導課指導主事）音楽につきましては、2者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。教育出版は、学習内容が2学年ずつのまとまりで系統的に配置され、発達段階に応じて継続的・発展的に学習できるよう工夫されています。段階的に繰り返し学習できるように、基礎的・基本的な内容を習得できる配列となっています。さらに、思考力や表現力を育成するために、巻末の「音楽のもと」「音楽を表すいろいろな言葉」は、学年に応じた説明になっています。教科書に書き込める欄があり、透明シートの活用など意欲的な学習に取り組める工夫があります。そして、児童の実態に即した紙面や豊富な資料によって音楽を愛好する心情や感性が育まれるような工夫がなされています。教育芸術社は、学年の目標を踏まえ、2学年共通の活動目標が示され、基礎的・基本的な学習内容が系統的・段階的に組織されています。基礎的・基本的な学力の定着を図るために、基礎的な用語や共通事項を児童が親しみやすい言葉や図で表現しています。また、感じ取ったことをもとに、思考・判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるように譜例や挿絵を用いた説明が充実しております。そして、ユニバーサルデザインの理念に基づき、イラストなどの落ち着いた色調や文字の大きさ等の紙面構成をしています。以上、各発行者に共通する点といたしまして、基礎基本を重視した題材構成をしながら、表現と鑑賞の関連を図っています。また、共通教材を日本のこころのうたとして取り上げ、我が国の自然・文化と音楽を愛好する心情を育てる工夫を図っています。さらに、資料が豊富であり、分かりやすく、楽しめる写真やイラストが掲載されています。そして、楽譜や文字の大きさも発達段階に応じて工夫していることが挙げられます。これで報告を終わります。

（松林剛志 指導課指導主事）図画工作につきましては、2者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。開隆堂は、絵に表す題材が多く配列される中で、系統性について十分に考えられております。作品例を豊富に示し、児童にとって親しみやすく、創作意欲を喚起しながら作り出す喜びを味わえるようになっております。扱う材料・用具につきましては、題材で使用する用具や材料が一覧としてまとめられており、活用しやすい工夫が見られます。鑑賞部分では、作品の見方を大きく取り上げて紹介するとともに、題材を発展的に捉え、児童の発想をより高めることができるように工夫されています。授業終了時の振り返り活動については、各題材で統一され、活動しやすいように配慮がなされています。日本文教は、立体に表す題材が多く配列されており、自主的な活動を促す表記、制作上の留意点等が全体を通して統一されています。制作の手順は明確に示されており、鑑賞題材も他の題材同様に観点が示され、活用しやすい工夫が見られます。参考作品は、児童の目標となるような作品を一つ一つ丁寧にレイアウトして掲載しております。扱う材料・用具等に使い方は、詳細に説明されております。また、ユニバーサルデザインを取り入れていることなどから、特別支援教育への配慮も見られます。さらに、授業初めに活動すべき内容が明示され、授業の流れが理解しやすく、児童が学びやすい工夫がされています。以上、各発行者に共通する点といたしまして、「基礎基本の技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」「主体的に取り組む工夫」「題材の設定」等の項目について工夫、配慮が見られます。また、鑑賞活動についてもそれぞれ特設のコーナーを設けるなど、充実した掲載をしていることが挙げられます。以上で、図画工作科の報告を終わりにいたします。家庭科につきましては、2者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。東京書籍は、「いつも確かめよう」や「これだけはできるようになろう」というコーナーを通して、基礎的・基本的な技能を習得できるように構成されています。全ての大題材で、生活から課題

を発見し、学習を生活に活かすことができるよう、ワークシートに考えを書き込む形式になっています。各活動のマークで言語活動の充実が図られています。全ての題材を3ステップで構成し、主体的に問題解決的な学習が展開できるようにしています。豊富な写真や図表、イラスト等で、具体的に用具の扱いが示されています。出会いの単元に家庭生活を配置し、衣食住を繰り返し学習するようになっています。開隆堂は、2年間を見通し、易しいものから難しいものへと、製作の技能は拡大写真で示し、繰り返し・積み上げ学習を通して基礎・基本の定着を図っています。「考えよう」「調べよう」「話し合おう」等の課題が適宜示されています。「学習のめあて」を提示し、終末には「できたかな」「ふりかえろう」の評価欄を設け、問題解決的な学習と、指導と評価の一体化を図っています。材料や用具の扱いについて、豊富な写真やイラストで大きく示し、安全マーク、防災マークで注意を喚起し、安全教育を徹底しています。家庭での取組も学期毎に設定され、生活で生きる確かな力が育成できるよう工夫されています。以上、各発行者に共通する点といたしまして、カラーユニバーサルデザインの観点、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの児童に見やすいようにと、配色及びデザインの配慮を行っています。また、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にする心情を育み、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる工夫がされていることが挙げられます。これで、家庭科の報告を終わります。

(熊田大樹 指導課指導主事) 体育につきましては、5者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。東京書籍は、単元の導入時に、ゲームやクイズを用いて学習を進めていくよう構成し、児童が興味・関心を持って学習に取り組めるよう工夫されています。15のマークを示して分かりやすく興味・関心を持って学習に取り組むことができるよう工夫されています。吹き出しを使っての解説や説明がされており、基礎的・基本的な知識が習得できるようになっています。インターネットを活用して調べるためのホームページアドレスが紹介されており、児童が主体的に学習に取り組む工夫がされています。他教科との関連も表示されており、他教科と結び付けながら学習を広げていくことができるようになっています。大日本図書は、単元の導入時に、ゲーム的な活動を取り入れ、学習を進めていくように構成し、児童が興味・関心を持って学習に取り組めるよう工夫しています。10のキャラクターが登場し、学習のヒントを与えたり、ポイントをアドバイスしたりして、児童の考えを深める構成となっています。学習内容に沿ったイラストや図表、活用するシールなどが多く掲載されています。単元に関連するホームページの紹介もあり、調べ学習など主体的に取り組む工夫がされています。文教社は、全体的に短い文章で構成されており、児童が学習内容を捉えやすくなっています。各単元の冒頭に学習課題が問いかけ文形式で構成されており、児童が学習しやすいよう工夫されています。さらに、「つぶやきくん」で関連するホームページアドレスや豆知識が記載され、児童が主体的に学習に取り組む工夫がされています。「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」という項目が課題解決の手助けとなり、児童が主体的に学習できるよう工夫されています。太字や黄色の塗り潰しで単元がまとめられており、基礎的・基本的な知識が習得できる構成になっています。光文書院は、基礎的・基本的な知識・技能の習得のために絵や説明を用いて、児童が理解しやすいようにまとめられています。単元に関連するホームページアドレスが紹介されており、児童が主体的な学習に取り組む工夫がされています。「あてはめよう」「みつけよう」「つたえよう」というコーナーが効果的に用いられ、自分の生活に生かして思考を深める構成になっています。重要な語句を太字や朱書きで示すことで、基礎的・基本的な知識が習得できるよう工夫されています。学研教育みらいは、基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、紙面が多く割かれており、最後の活用につなげられるよう構成が工夫されています。基礎的・基本的な学習内容が本文で簡潔にまとめられ、写真

やイラストが豊富であり、知識が習得しやすいよう工夫されています。教科書は、学習内容を見開きの2ページでまとめ、1時間の授業ができるような構成となっています。単元の最後では、自分の考えを書き込む活動を通して、思考を深めることができるよう工夫されています。学習の振り返りや学習したことを活用するための書き込む場所が効果的に配置されています。以上、各発行者に共通する点といたしまして、基礎的・基本的な知識を習得させる工夫や、思考力、判断力、表現力を育成する工夫がなされ、主体的に学習に取り組む態度を養う配慮がされています。また、健康・安全についての理解を深め、健康な生活を送る資質や能力を育成するよう工夫していることが挙げられます。これで、報告を終わります。

(石塚昌夫 小学校教科用図書選定資料作成委員会委員長) 以上をもちまして、説明を終わりにいたします。

(池野和己 教育長) 調査検討事項につきまして説明をいただきました。それでは、ただ今の説明につきまして、質疑、意見をいただきたいと思います。

(大塚崇行 委員) 今回の教科書の採択に当たってのスケジュールについて、流れについて、もう一度確認をさせていただきたいと思います。昨年度は道德の教科化がありましたが、今回、4年に一度の教科書採択にかかわらせていただくのは、初めてのことですので、いろいろわからないこともあるものですから、文部科学省の「平成31年度使用教科書の採択事務処理について」という通知をホームページで確認をさせていただきました。それによりますと、平成29年度の検定において新たな図書の申請がなかったために、基本的には、前回の平成25年度検定合格図書等の中から採択を行うこととなること、ということがありました。今回採択される教科書は、基本的に、4年前にこの場で協議をして採択をした教科書と同じということと考えさせていただいてよろしいですかということと、また、このホームページの最後に「今後の検定・採択のスケジュールについて」ということで、小学校については平成32年度から、中学校については平成33年度から、新しい学習指導要領が実施される予定ということになっており、今後の検定・採択のスケジュールについて別表を参照するようにということで、その表を見てみますと、今年度、検定が行われるのですかね。来年度採択するというので、来年度には、新しい学習指導要領に沿った教科書の採択を行うということのスケジュールということによろしいですね。

(瀧沢葉子 指導課長) そのとおりでございます。

(大塚崇行 委員) そうすると、今回採択するものというのは、1年限りの使用ということで、来年度には、新しい学習指導要領に沿ったものを、また、選定するというのでよろしいですね。

(瀧沢葉子 指導課長) はい。そのとおりでございます。

(池野和己 教育長) それ以外にありましたら、お願いします。

(細野宏道 教育長職務代理者) 説明ありがとうございました。今、大塚委員からも意見がありました。前回の教科書選定に携わらせていただきました。現在の教科書を使い、実際に、アンケートも拝見をさせていただきました。専門部会の調査もいただきました。現場の声で何かあれば、そのへんの

ことをお聞かせ願えればと思います。どの教科もということもありますが、そのへんはお任せします。それを受けて、私の方で気になって、「この教科についてはどうですか。」ということがあれば、追加で質問させていただきます。以上です。

（瀧沢葉子 指導課長） 前回の採択で替わりました社会科の地図と、音楽科も教科書が替わっておりますので、そのへんのことを担当からご説明させていただきます。

（吉田朋矢 指導課指導主事） 地図につきまして、各学校の調査では、「サイズが大きく、見やすい。」「土地利用図の配色が細かい。」などの特長が評価されています。また、防災の学習や領土の問題等、新しい学習指導要領にも対応できる内容となっております。以上です。

（根本純江 指導課指導主事） 音楽につきましては、各学校の調査で、写真やイラストが多いといった、資料が豊富であること、共通事項、新出記号が決まった場所に掲載されていること、楽器の導入部分の扱いが丁寧であることなどの特長が多く挙げられています。

（細野宏道 教育長職務代理者） ありがとうございます。実は、今、私も地図のことを聞きたいと思っていました。前回の教科書採択において、教科書がそれまで使っていたものから替わったというのは事実です。私は、今回あらためて地図を見直してみました。今回、小学校で使う地図という観点と私のような年齢が見る地図ということで違うのだと思います。たとえば、高校の教科書で使う地図であれば、ということでもてしまうと、ということも思ったのですが、小学校段階としてどちらがよいかという観点であらためてみると、ということになると、現在のものがよいのかということ、一長一短があって難しいところはあるかと、あらためて感じております。それから、音楽についてですが、これも、私、前回のときに楽曲のこととか、主体的な学びの手助けになるとか、意欲的な学習がどうかということでお話をさせていただいたことを記憶しています。今回、ある程度こちらになっているので、現場の先生の意見を聴いて安心をしました。その2点については、以上です。

（池野和己 教育長） それ以外に質問等ありましたら、お願いします。

（中野住衣 委員） 地図に関してです。前回採択された時に、それまでの教科書が替わりました。現在使用されている教科書の良さを担当の方から伺いました。ありがとうございます。私は今回、比較して双方の会社の良さを検討してみました。現在使われているものは大きく、大きい方が見やすいという良さがあります。大きさ以外では、他者の方も色合いがよく内容は充実していると思いました。他に、索引がとても見やすいこと、基礎的基本的な知識・技能の習得と子ども達が地図を常に片手に持って主体的に楽しみながら学んでいける流れができていること、巻頭の『地図の使い方』から入り、小学生の思考に沿って学習が進んでいくことなど工夫がたくさんありました。さらに、日本と世界のつながりを考えて興味を促すことが地図や資料の随所にあり、小学校の発達段階から、そちらもとても良いと評価できました。先ほどの説明にあったサイズ・配色以外で、今お話しさせていただいた点について何か意見はありませんでしたか。

（吉田朋矢 指導課指導主事） 繰り返しになってしまうのですが、各学校の調査で、サイズが大きくて見やすいということが小学生の発達段階に合っていると、また、配色が細かいというところも、4年生から使うものでありますので、非常に視覚的にも見やすい部分があるということで、各学校から調

査の結果があがっております。

(中野住衣 委員) はい。わかりました。

(池野和己 教育長) 他にいかがでしょうか。

(細野宏道 教育長職務代理者) 3教科について、お伺いをさせていただきます。国語、算数と理科です。まず、国語です。子どもたちの読書の促進をする。促進をすることが図られていることが必要だと思います。現在の教科書で読書の促進について図られることについて、プラス方向、マイナス方向で何かありますか。

(宮田直弥 指導課指導主事) 読書活動の推進につきましては、どの教科書会社につきましてもかなり力を入れております。と言いますのも、単元の最後であったり、巻末の資料であったりという部分に、並行読書や学習後に読む図書の紹介が充実しております。以上でございます。

(細野宏道 教育長職務代理者) ありがとうございます。続きまして、算数です。先程、あるところで、数理的から数式的というものがたいへんということで、私は算数というものを子どもたちが学び始めるときに数字というものが大事だなということを感じてほしいと思っています。現在使っている教科書は、実際にそのへんが考えられていると思うのですが、現場の先生にそのへんの意見というものがありませんでしたらお願いします。

(根本純江 指導課指導主事) 現在使われている教科書ということではございましたが、先程も報告に挙げさせていただきましたとおり、どの教科書もそういった活動を重視して作られております。以上でございます。

(細野宏道 教育長職務代理者) ありがとうございます。最後に、理科についてです。理科という教科を小学校から習うということで、児童が初めて勉強するということで、数字の大きさとか、文字の大きさとか、興味がわくかとかということがポイントになってくるかと思っていますが、ものを考えていく上で解決をしていく流れというものが統一をされているという観点でみると、そのへん何かご意見がありましたか。

(安彦伸也 指導課指導主事) 理科に関しましては、問題解決の流れをどの出版会社も見通しをもって学習できるように配慮された編集になっています。

(細野宏道 教育長職務代理者) ありがとうございます。

(池野和己 教育長) 他にありますか。

(岡田栄一 委員) 私、歯科医師をやっているものですから、保健体育で、私たちの業界のことがどの程度取り扱われているか見てしまうところがあるのですが、5者ありまして内容的にはほとんど同じだったのですが、今よく言われています「8020運動」について取り上げているところが一つしかありませんでした。そのへん、二十何年かやっていて一つの教科書しかないというのは、私たちも、

もっと促さなければいけないのだと思うのですが、そのへん、もう少し他の教科書を作る方たちにも、もう少し歯科のことを、健康に対する取組、重要性というものをもう少し認識していただいて作っていただければと感じるところです。

(池野和己 教育長) ご意見ということでよろしいでしょうか。

(岡田栄一 委員) はい。

(池野和己 教育長) 他にありますか。

(中野住衣 委員) 今、保健についてありましたが、健康で安全な生活を送る、そういう資質・能力を育成するためには、特に日常の生活と結びつけて、自分で考えて判断していくことができる力を付けていかなければいけないということで、受け身の学習ではなくて、その生活の中から課題を見つけて解決していくという、そういう流れで学習が進められることがとても大切な教科かと思います。そのへんの部分については、調査・研究ではどのようなお話が出ましたか。何かあれば、お話を聞きたいと思います。

(熊田大樹 指導課指導主事) 発行いただいている5者それぞれの教科書は、まず、基礎的・基本的な部分をおさえた上で、どの発行者に関しても、その後の考えてみる部分、調べてみる部分、話し合ってみる部分ということが、教科書の中でも児童が主体的に学習活動が展開できるような工夫は、5者ともされています。

(中野住衣 委員) 書き込みのスペースがそれぞれ違っておりました。自分で気づいたことなど書き込むことが評価に関わると思います。その点につきましては、どのくらいの違いがあり、どのくらいが適切か、意見がありましたら教えてください。

(熊田大樹 指導課指導主事) 教科書のサイズの関係もあります。それから、証拠量の差もありまして、書き込む欄、あるいは、ワークシート形式になっている欄、教科書によって多少差が出ているところはあります。

(中野住衣 委員) ありがとうございます。

(池野和己 教育長) 他にありますか。

(内田みどり 委員) いろいろ教科書、いろいろな会社を見させていただきましたが、現在使っている教科書を1年だけということと考えますと、保護者としますと、1年だけということでは替えていただくというのは、教科書が全く違ったものとなりますと、見方が変わってしまいますので、1年だけというのはどうなのかなというところは感じました。できることでしたら、現状のものを扱っていただくと、見慣れた教科書というのは、保護者にとっても安心するところがありますし、子どもも安心するのではないかというところを感じたところです。また、あらためて、学習指導要領が変わるということになりますと、各者がいろいろ変えてくると思いますので、そうなってくると、実際に今使っている出版社も内容を変えてくるということもありますので、できれば保護者としては、使い慣れたも

のをというものを感じたところです。

(池野和己 教育長) 意見ということでよろしいですか。

(内田みどり 委員) はい。

(池野和己 教育長) 他にありましたら、お願いします。

(大塚崇行 委員) ただ今、内田委員さんも言われたように、私もそのところを懸念するところだったのですが、指導する立場として、もし、替わってしまった場合に問題点はございますか。

(瀧沢葉子 指導課長) 教科書をもとに、各教員は教材研究をたいへん深めているものでございます。ですから、教科書が替われば、それに伴う教材研究をまた新たにやるということになります。また、指導計画につきましても、新たに組み直すというところが出てまいります。

(大塚崇行 委員) ありがとうございます。

(池野和己 教育長) 他には、いかがですか。

(中野住衣 委員) 国語だけではないのですが、例えば、国語の教科書を見た時に、巻頭と巻末の資料が充実していて、巻頭には学習の進め方ですとか 1 年間の学習の見通しですとかそれから内容的なものもしっかり入っています。巻末にも言葉の力を付けるためのまとめであるとか読書活動の推進に係る内容であるとか大変充実しており厚い教科書になっています。特に高学年は年間 1 冊になっている会社もあり、内容の充実した厚い教科書になっています。1 冊に編集すること、巻頭・巻末を充実すること等の傾向が最近はあるのですか。そうすることの良さも含めて教えてください。

(宮田直弥 指導課指導主事) 巻末の資料の充実は、どの教科書会社についてもかなり充実しています。出版社によっては、以前、巻末資料ではなく、年間で扱うような教材にあった。教材が教科書改訂によって巻末資料になったものというのもございます。学校現場としては、巻末資料をその年間で扱う教材と関連させながら、たとえば、読書活動の推進であるとか、関連教材として読み進めたりとか、話す活動と関連しながら使われておりますので、教材としては大切なものとして扱われております。

(中野住衣 委員) 特に巻頭のページで、非常に細かく学習の見通しや 1 年間の内容、例えば、『聞く・話す・読む・書く』等、領域等も詳しく入っています。これだけの厚さ・重さになると、充実しているのはよいのですが、ここまで多くの情報を入れることがいいのか考えてしまいます。巻頭では主体的な学習が見通しを持ってできるよう書いてあります。教科書の編纂について、そのようになってきた流れがあるのでしたら教えてください。

(宮田直弥 指導課指導主事) 巻頭の単元の見通しであったり、年間の見通しであったりというところがかなりの充実をしているのは、今、国語を学習する目的であったり、国語を学習するゴールというものを意識させた指導に各者力を入れているところにあると思われま。以上です。

(中野住衣 委員) わかりました。ありがとうございました。

(池野和己 教育長) 他にございますか。

(細野宏道 教育長職務代理者) 意見です。今、中野委員が言われていました。携わっていて、だんだん、教科書が厚くなってきた気がします。そうすると、小学校の児童がランドセルに教科書を入れて学校に来るとなると、こんなに厚くなってくるわけです。もちろん、読み・書き・そろばんというか、教えることが増えているということは理解できます。その資料が必要だということも理解できます。ですから、何か工夫というか、上下に分けると、1年の中間では上下2冊持つてくることになりますので、教科ごとに3分の1とか3分の2とか、何か工夫をしないと、子どもたちが重いものを毎日運んでくるわけなので、そのへんは、必要な議論の一点に挙げてよいのかというように、ずっと教科書選定に携わらせていただいて、あらためて、今回も思いました。以上です。

(池野和己 教育長) 他にございますか。よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) それでは、ほぼ、質問、意見等が出尽くしたようでございますので、ここで協議を終了させていただきます。これから、教科書選定の投票を行います。投票は、これからお配りをいたします投票用紙によって行います。投票用紙には、採択すべきと考える教科用図書の第1位と第2位をご記入ください。第1位の教科用図書の右側の枠に◎を、2番目に採択をすべきと考えるものにつくましては○をご記入いただきたいと思えます。第1番に選んでいただいたものについては2点、第2位については1点で集計をさせていただきます。委員の皆様の意見を集約した結果として採択すべき教科用図書を選定したいと考えております。それでは、事務局に投票の準備をお願いします。あわせて、投票用紙の配布をお願いします。

～投票用紙の配布～

(池野和己 教育長) 投票箱の準備をお願いします。投票箱の確認もお願いします。

～投票箱の確認～

(池野和己 教育長) 投票箱は異常なしと認めます。それでは、投票用紙に先程申し上げましたようにお書きいただきまして、記入が終わりました委員さんから投票箱に投票をお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

～各委員による投票～

(池野和己 教育長) 投票が終了しましたので、事務局は開票及び集計をお願いします。

～開票及び集計～

(池野和己 教育長) ただ今、集計が終了いたしましたので、これから、国語から順番に得点の高い順に報告を申し上げます。点数が入ったものについては、すべて申し上げますので、お願いいたします。まず、国語でございますが、最高得点は12点、出版社は光村、タイトルは「国語」です。その次に、東京書籍が3点、教育出版が3点。以上でございます。続いて、国語(書写)、最高得点は12点、出版社は光村、タイトルは「書写」でございます。続いて、教育出版6点。以上でございます。続いて、社会科、最高得点は12点、出版社は東京書籍、タイトルは「新編 新しい社会」です。続いて、教育出版が5点、光村が1点。以上でございます。続いて、社会科の地図、最高得点が10点、出版社は東京書籍、「新編 新しい地図帳」でございます。続いて、帝国書院が8点。以上でございます。5番目、算数でございますが、最高得点は12点、出版社は東京書籍、「新編 新しい算数」でございます。続いて、啓林館5点、学校図書1点。以上でございます。6番目、理科でございますが、最高得点は12点、出版社は教育出版、「未来をひらく 小学理科」でございます。続いて、東京書籍3点、学校図書3点。以上でございます。7番目、生活科、最高得点は12点、出版社は東京書籍、「新編 新しい生活」でございます。続いて、学校図書3点、教育出版2点、光村1点。以上でございます。8番目、音楽でございます。最高得点は10点、出版社は教育出版「小学音楽 音楽のおくりもの」でございます。続いて、教育芸術社が8点。以上でございます。9番目、図画工作ですが、最高得点は12点、出版社は開隆堂、「図画工作」でございます。続いて、日本文教出版6点。以上でございます。10番目に家庭科ですが、最高得点は12点、出版社は開隆堂、「わたしたちの家庭科」でございます。続いて、東京書籍の6点。以上でございます。最後になりますが、体育。最高得点は11点、出版社は学研教育みらい、「新・みんなの保健」でございます。続いて、東京書籍の7点。以上でございます。それでは、以上で、平成31年度使用小学校教科用図書の採択についての協議を終了いたします。

(池野和己 教育長) 続きまして、平成31年度使用中学校教科用図書の採択についての協議を行います。

(今泉達也 学校教育部長) 中学校教科用図書の採択につきましては、文部科学省「中学校用教科書目録」の中から、教科用図書を選定し、採択いただくことになっております。本日は、すでに配布させていただきました各資料から、資料作成委員会の研究結果をご報告申し上げます。

(池野和己 教育長) それでは、上尾市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則第5条第5項の規定により、福田中学校教科用図書選定資料作成委員会委員長より、平成31年度使用中学校教科用図書の採択について、調査検討事項の説明をお願いいたします。

(福田哲 中学校教科用図書選定資料作成委員会委員長) それでは、ただ今から、中学校教科用図書「道徳」の採択に係る選定資料についてご説明いたします。資料作成の過程でございますが、校長1名、専門的知識を有する教員4名により専門部会を組織し、すべての教科書発行者の教科用図書について調査研究し、その結果を資料作成委員会において報告していただきました。その報告をもとに、学校の調査研究結果、教科用図書展示会におけるアンケートも参考にしながら作成したものが、選定資料でございます。

(池野和己 教育長) それでは、上尾市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則第9条第2項

の規定により、調査検討事項の説明をお願いします。

（福田哲 中学校教科用図書選定資料作成委員会委員長）それでは、平成31年度使用中学校教科用図書の採択について、西倉専門部会長よりご説明申し上げます。

（西倉剛 中学校教科用図書選定資料作成委員会道德専門部会長）特別の教科道德科につきましては、8者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。東京書籍は、各教材に中心発問と自己を見つめる発問を設けており、段階的に学べるように工夫しております。道德性を育成する工夫としては、話し合い活動や思考の質を高める「心情円」や「ホワイトボード用紙」などのツールを用意しており、体験的な学習を通して議論できるようにしております。また、いじめに関することと生命尊重に関することを、発達段階に即して、全学年で特設的に扱っており、3年間を見据えた学習ができるようになっています。学校図書は、各教材に「学びに向かうために」という設問例を提示し、考えたり議論したりすることができるようにしております。また、学んだことを三期に分けて振り返りができるように構成されております。ねらいを達成させる工夫としては、各教材に深く考えさせたい重要な現代的課題などを10のポイントマークで示し、何を学ぶのかを明確にしております。さらに「心の扉」というコラムも随所にあり、考えを深めたり、広めたりできるようにしています。教育出版は、各教材の冒頭に導入となる1つの設問、終末の「学びの道しるべ」で話し合いの柱となる3つの設問が提示され、どのように考え、話し合っていくのかを示しております。また、学習内容を焦点化するために、教科書に載せる資料を教材のみに絞っております。ねらいを達成させる工夫としては、道德びらきのページ、学期ごとの学びの記録のページを設けており、自己を振り返り、自らの成長が実感できるようにしております。光村図書は、1年間の教材を4つのシーズンに分け、関連する内容項目が有機的に結びつくように構成されております。各教材には「学びのテーマ」が設けられており、考える観点が明確になっています。また、随所に「コラム」というページがあり、直前の教材と関連づけて学習できるようにしています。ねらいを達成させる工夫としては、小学校で学習する教材を各学年で取り入れ、振り返りや学び直しの学習ができるようになっております。日本文教は、各教材の冒頭に登場人物や主人公などが提示され、内容把握がしやすくなる工夫が見られます。また、教材末には「考えてみよう」「自分に+」という設問例が設けられ、「気づく」「考え、議論する」「見つめる」の3つのステップにより、対話的で深い学びができるようにしています。教材に基づく自分の考えや友だちの考えなどを記入できる道德ノートが別冊されており、生徒自らで自分の成長を実感できるようになっております。学研教育みらいは、各教材に主題名を示していないことで、主体的な授業が展開できるようにしています。また、考えを深め、自己を見つめるための発問例を1つに絞って提示しております。さらに、特設ページ「深めよう」を設け、役割演技や話し合いを通して、生徒相互が考えを深めていけるように工夫しています。このほか、ほとんどの教材に「クローズアップ」「クローズアッププラス」のページが設けられており、学びの視野を広めております。廣済堂あかつきは、各教材末に、発問例となる「考える・話し合う」が設けられており、見通しを持って主体的に考えられるようになっています。また、別冊ノートを付属しており、考えを整理し、深い学びにつなげる話し合い活動ができるようにしています。別冊ノートは、22の内容項目に基づいて作成されてお

り、学習の記録を蓄積することができるよう形式が整えられているので、学びの軌跡を継続的に確認できるようになっています。日本教科書は、内容項目ごとに教材をまとめて配置しており、授業者が教科書の順に縛られることなく学習できるようにしています。ねらいを達成させる工夫としては、書き下ろしの教材を多く取り上げ、中学生の問題や悩みなどに直接的に迫る教材が配置されています。巻末には「中学生で身につけたい22の心」を4段階で自己評価できる欄が設けられており、生徒が自己の心の成長を自ら振り返ることができるようにしています。以上で、報告を終わります。

（福田哲 中学校教科用図書選定資料作成委員会委員長）以上をもちまして、説明を終わりにさせていただきます。

（池野和己 教育長）ただ今、調査検討事項について説明をいただきました。この説明につきまして、質疑、意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

（大塚崇行 委員）別冊ノートが付いているものと、付いていないものがありますが、指導する中で、活用できているのか、いかがでしょうか。

（西倉剛 中学校教科用図書選定資料作成委員会道德専門部会長）別冊ノートにつきましては、今ご報告申し上げたとおり、日本文教と廣済堂あかつきが用意をしています。日本文教の別冊ノートは、教材にリンクしておりまして、教材で扱っている発問例等がそのまま載っている形をとっています。あかつきは、内容項目22の項目別に作られていますので、教材には必ずしもリンクしているというものではなくて、別冊ノートだけで、単独で使えるような形態をとっています。中学校では、その別冊ノートがあることによって、発問等々を用意しなくて済むという一つのメリットもございますが、一方で、各担任あるいは評価者、指導者が自らで発問していくというものに関していうならば、自ら考えた発問等々に関しては、合わないケースが出てくるというようなこともあろうかと思っております。以上でございます。

（池野和己 教育長）よろしいですか。それ以外にありましたら、お願いします。

（中野住衣 委員）今のことに关してですが、書くスペースが非常に大きくノート等に入っていると、これからは、考え、議論する道德を目指すわけですから、一つの中心の発問について生徒同士でじっくり話し合わせたいということからすると、記録するのに無理があるのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

（西倉剛 中学校教科用図書選定資料作成委員会道德専門部会長）確かに、委員さんのおっしゃるとおり別冊ノートがあるということのメリットは大きいかと思っておりますが、各者ともWeb上でワーク等々をダウンロードするような形態がとられていますので、そういったものを活用していけば、書くスペースを設けることができるというような形で調査研究はいたしました。

（中野住衣 委員）書くスペースを設けることができるということですね。

(西倉剛 中学校教科用図書選定資料作成委員会道德専門部会長) はい。

(池野和己 教育長) 他にはいかがでしょうか。

(内田みどり 委員) 道德の教科書を拝見させていただいて、かなり大きさのある教科書もあります。幅のある教科書もあります。重たさもあります。教科書の扱いは、持ち帰り、それとも、学校に置いたままにされるのでしょうか。

(西倉剛 中学校教科用図書選定資料作成委員会道德専門部会長) 教科書の扱いについては、各学校でそれぞれの判断で行うことになるかと思しますので、必ずしも、持ち帰らなければいけないとか、置いておかなければいけないというようなことにはなっていないと認識しています。

(内田みどり 委員) それでは、持ち帰る可能性もあるということですね。

(西倉剛 中学校教科用図書選定資料作成委員会道德専門部会長) はい。

(内田みどり 委員) わかりました。重たさも、気になる教科書が多かったものですから。ありがとうございました。

(池野和己 教育長) 他にお願いいたします。

(中野住衣 委員) 今回、教科書になるということで、各者いろいろ工夫されていて、読ませていただくと、読み物、資料、教材ですが、よい教材がたくさん入っていて、心に響く内容のものがありました。中学校というのは、非常に文章量が多いということをいつも感じています。道德の時間に、文章を読んだだけでも、とても時間を要して、条件、状況等を資料の中で説明していると、それだけでも時間をとってしまうのですけれど、適切な文章量と考えたときに、現場で、そういう文章量について話題にのぼるようなことがありましたら、お聞かせいただきたいと思います。

(西倉剛 中学校教科用図書選定資料作成委員会道德専門部会長) 専門部会の中で、特段、文章量について云々というような細かい議論まではしておりません。ただ、学校では、文章量の多い場合には、先生方によっては前日に読ませておいて、授業に臨むというような形態がとられたり、2時間扱いで扱われたりというケースもあろうかと聞いております。

(中野住衣 委員) はい。わかりました。ありがとうございました。

(池野和己 教育長) 他にお願いいたします。

(岡田栄一 委員) 各教科書によって、内容項目の配当数というのが違うと思うのですが、先生方が専門委員会で調べてみて、どのへんの内容項目が徹底的にあった方がよいとか、そういう意見はあったのでしょうか。

(西倉剛 中学校教科用図書選定資料作成委員会道德専門部会長) 特に、4つの内容項目について、

「これが一番多いのが」というところでの観点で調査研究はしませんでした。ただし、最初の自分との関わり、他人との関わり等々がいじめの問題ですとか、そういったものを扱っていますので、各教科書とも多いかと考えております。

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。他にはいかがでしょうか。

(細野宏道 教育長職務代理者) 道徳が教科になりました。心情理解ではなくて、考える道徳ということになると思うのですが、教科書によって、冒頭に主題が記載をされているものとそうでないものとあると思います。授業時数を考えると、1週間のうち、道徳ということになかなか時間が取れない。そのへんで、研究で主題が書かれている、書かれていないというのをどうするのかということの研究されたかということをお聞かせください。

(西倉剛 中学校教科用図書選定資料作成委員会道徳専門部会長) 各教科書会社によって、主題を明確に示しているもの、丁寧に、さまざまな資料で最初の発問につなげているもの、あるいは、全くそれを示さずに資料末にもっていく形態のもの、それぞれございました。主題が載せてあるものであるとか、あるいは、最初の発問例等々が最初に出てくるものにつきましては、導入であるとか、あるいは、授業の進行ということに関していうならば、かなり有効的な手立てがとれるであろうと考えております。一方、主題がないというようなものにつきましては、最初にその資料の良さといいますか、重みというか、それを授業の中で子どもたちが十分に味わった上で、発問に入っていけるというようなものがありますので、何の準備もないといいますか、余計な情報なく、その資料にひかれるというような部分のメリットがあるかと思えます。また、教員によっては、その資料につきまして主題等が示されていない中でも、ねらいは、当然教師としては授業する中で持っていますので、それに落とし込んで自らの言葉による発問等々が工夫できるかという面があるのではないかというような議論がありました。

(細野宏道 教育長職務代理者) はい。ありがとうございました。

(池野和己 教育長) 質問、あるいは意見等でもございましたら、お願いします。

(内田みどり 委員) 道徳の中で各者いろいろテーマがあって、同じような文章も入ったものですが、1者だけだったと思うのですが、たとえば、自転車の乗り方ですとか、私は、道徳で、ぜひ、自転車の乗り方についてやって欲しかったのです。今、自転車の事故等が多いのですが、小学校の時に自転車の乗り方をやっても、それを中学生になると覚えているかどうかがございます。自転車の事故があったり、そういったことがあったのですが、1者か2者だったかと思うのですが、これも私は社会的モラル、道徳での教育で、もう一度生徒にも考えてほしいというところがありました。あと、たとえば、鳥取砂丘での落書きですとか、こういったことも、うっかりして。家庭で話せばよいのですが、そういうことがないと、それをやってよいかどうかということを判断というの、一般的に考えれば、モラルだと思うのですが、そういったことも気づきの問題として、とり上げるというところは、中学生に、ぜひ、学んでほしいなというところも感じたところです。どうしても、いじめの問題ですとか、そういったところに教育的になってしまっている教科書がどうしても多いかなというところもあったのですが、そういうのも考えなければいけないのかなというところがありました。意見です。

(池野和己 教育長) 他にありますか。

(細野宏道 教育長職務代理者) 先程、時数の問題でお話をさせていただいたのですが、道徳という教科書を1年間をかけて考える上で、どういうふう/system立てて1年間を組んでいくのか、その中で教科書をどう使っていくのかというのは、どういう研究をされたかをお聞かせください。

(西倉剛 中学校教科用図書選定資料作成委員会道徳専門部会長) 8者の中で1者だけが内容項目ごとに、教科書にまとめて作られています。日本教科書が内容項目、自分に関するものが最初にいくつかの資料があり、他人とのかわりに関係するものがあり、というような形で、そういう順番で日本教科書は作られています。それ以外の教科書は、その内容項目4つがばらばらに作成されているのですが、おおむね、各学校の学校行事であるとか、年間行事であるとかに準じた形で配列されているものが多いようであると、調査研究をいたしました。ですから、たとえば、体育祭の時期に体育祭に関わるような資料等々が用意されているような配列のしかたが多く見られたので、教科書会社は「このような順で行ってほしい」といった意図をもって教材を配置しているだろうと調査研究したところでございます。

(細野宏道 教育長職務代理者) ありがとうございます。

(池野和己 教育長) 他にありますか。

(中野住衣 委員) 意見ですが、述べさせていただきます。道徳が教科化となって、教科書で生徒にどう教えるかということになるのですが、目の前にいる生徒と向き合い担任の先生が授業するわけで、生徒の実態を一番把握している担任の先生の授業だからこそ意味があると考えます。各者の教科書を拝見しましたが、すばらしい読みものがたくさんありました。この教科書の内容を1週間に1回授業を準備し展開することはとても難しいことだと思いました。どういう発問で生徒の心を揺さぶるか、どこを話し合いにもっていき、十分に声を交わらせ、自分だけでなく友達の価値も知ること、価値を自覚させ実践につなげていくか、先生方のご努力に期待するところです。先生方が生徒と一緒に学ぶという姿勢で、教材を十分に研究していただきたいと願っています。道徳の時間は、教材から学び、その後、資料から離れて自分のことを振り返り考える時間です。「自分は今までどうだったろうか」「これからこういうところを変えていきたい」と、生徒個々にふと心を温める時間となるよう、一人一人が主体的に考える授業を校内でも研究を行い実践してほしいと思います。道徳は、指導・評価したことが即効的に身につくものではないと思うので、長い目で生徒に寄り添い、大切な価値について具体的な生活場面で継続して評価していくような取組を期待しています。よろしく願いいたします。

(池野和己 教育長) 他にありますか。

(大塚崇行 委員) 今回、事前に2回にわたって、ビデオで各教科書会社の説明をいただいて、その時、私も教科書を持ってきて、ビデオをみながら説明を聞いたのですが、たいへんわかりやすかったので、今回は事前説明がよかったと思いました。ありがとうございます。

(池野和己 教育長) 私からもひとつ意見を述べさせていただきます。今回、各者の教科書が道徳科と

いうことで初めて教科用図書ができたわけですが、どれを見ても、非常に工夫をされていて、ほんとうに、それぞれの特色がよく出ていたように思いました。中学生が1週間に1回の道徳の授業の中で道徳の学習を進めるに当たって、何が一番求められているのかが教科書を見ると、その特色が出ているように私は感じました。いわゆる養育と言われてきた特別活動と道徳という2つの両輪のうち、道徳的自主性を求めていくその特別活動の部分がある程度色濃く道徳の教科書の中に見られる教科書もあったと思います。先程、内田委員がおっしゃられた社会マナーというような部分で出ているところなども、境界線がはっきりしなくなってきたというか、私は、それはそれなりに意味を受け止めるのですが、たとえば、選挙に生徒が18歳になったら行けるという今の時代になったときに、その投票ということまで道徳の教科書の中に入ってきている教科書もありましたが、いわゆる、個人内道徳だけではなくて、いわゆる倫理学に通じるわけですが、いわゆる社会道徳という部分のところまで中学生に求めていこうとしている教科書も出てきていて、これからの道徳の授業をどういうふうに進めていくかは、まさに、これからの先生方が、ほんとうに子どもたちに対して、人間とはいかに生きていくかということをおんとうに問いかけて、その時間の中で子どもたちが真剣に考えられる道徳になるかどうかは、結局、教科書の採択も非常に重要ですが、その後の教材研究等に待たれる部分も非常に多いのかなとは、私が思った印象でした。指導内容項目を最初に載せてある教科書については、ある意味気を付けて使用していかないと、たとえば、節度、節制とはっきり書いてあるということになると、生徒は、この授業の中で先生が教えていく分は節度、節制なのだとなるわけです。したがって、これまでの道徳教育の流れの主流は、そういうものは載せないで、子どもがまさにその中でどういう道徳的価値があるかということをおん判断していくというような部分に重点を置いていたわけですが、今回、教科化となったひとつの理由としてのいじめも含めて、中学生を取り巻くいろいろな課題の中で、こうした新しい方向の考える道徳を進めるには、やはり、これは教科書だけの力だけではなくて、各先生方のこれからのご努力に大きくかかわってくるのだろうというような印象を受けました。いずれの教科書も非常に工夫されていて、それぞれの特色があると思いました。

(池野和己 教育長) 他によろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) それでは、だいたい意見等も出尽くしたようでございますので、協議を終了いたします。これから、教科書選定の投票を行います。投票は、先程、小学校教科用図書の選定を行ったときと同じように行ってまいりますので、よろしくお願ひいたします。それでは、投票の準備をお願ひいたします。

～投票用紙の配布～

(池野和己 教育長) 投票箱の確認もお願ひします。

～投票箱の確認～

(池野和己 教育長) 投票箱は異常なしと認めます。記入が終わりました委員さんから投票箱に投票をお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

～各委員による投票～

(池野和己 教育長) 投票が終了いたしましたので、事務局は開票及び集計をお願いします。

～開票及び集計～

(池野和己 教育長) それでは、集計が終了いたしましたので、得点の高い順に報告を申し上げます。最高得点は10点、出版社は株式会社学研教育みらい、「中学生の道徳 明日への扉」です。続いて、光村図書5点、日本文教出版株式会社3点。以上でございます。それでは、以上で、平成31年度使用中学校教科用図書の採択についての協議を終了いたします。それでは、日程第4の議案の審議に係る資料の準備をいたしますので、しばらくお待ちいただきたいと思っております。

～議案書の作成～

日程第4 議案の審議

(池野和己 教育長) それでは、「日程第4 議案の審議」でございます。皆様のご意見を集約いたしました議案第33号及び議案第34号が提出されました。はじめに、「議案第33号 平成31年度使用小学校教科用図書の採択について」説明をお願いいたします。

(今泉達也 学校教育部長) 議案第33号につきましては、瀧沢副参事兼指導課長が説明申し上げます。

○議案第33号 平成31年度使用小学校教科用図書の採択について

(瀧沢葉子 指導課長) 「議案第33号 平成31年度使用小学校教科用図書の採択について」説明させていただきます。平成31年度から上尾市立小学校において使用する教科用図書について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項の規定により採択をしたいので、この案を提出いたします。国語、光村図書出版。書写、光村図書出版。社会、東京書籍。地図、東京書籍。算数、東京書籍。理科、教育出版。生活、東京書籍。音楽、教育出版。図画工作、開隆堂出版。家庭、開隆堂出版。保健、学研教育みらい。以上でございます。よろしくをお願いいたします。

(池野和己 教育長) ただ今、議案第33号について、説明をいただきました。質疑、意見等ございましたら、お願いします。

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) ないようですので、これより採決に移ります。「議案第33号 平成31年度使用小学校教科用図書の採択について」原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

～委員全員から「異議なし」の声～

(池野和己 教育長) 異議ないものと認め、原案のとおり可決いたしました。この採択結果を埼玉県教育委員会へ報告いたします。

(池野和己 教育長) 続いて、「議案第34号 平成31年度使用中学校教科用図書採択について」説明をお願いいたします。

(今泉達也 学校教育部長) 議案第34号につきましては、瀧沢副参事兼指導課長が説明申し上げます。

○議案第34号 平成31年度使用中学校教科用図書採択について

(瀧沢葉子 指導課長) 「議案第34号 平成31年度使用中学校教科用図書採択について」説明させていただきます。平成31年度から上尾市立中学校において使用する教科用図書について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項の規定により採択をしたいので、この案を提出いたします。特別の教科道徳、株式会社学研教育みらい。以上でございます。よろしくお願いいたします。

(池野和己 教育長) ただ今、議案第34号について、説明をいただきました。質疑、意見等ございましたら、お願いします。

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) ないようですので、これより採決に移ります。「議案第34号 平成31年度使用中学校教科用図書採択について」原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

～委員全員から「異議なし」の声～

(池野和己 教育長) 異議ないものと認め、原案のとおり可決いたしました。なお、この採択結果を埼玉県教育委員会へ報告いたします。

日程第5 閉会の宣告

(池野和己 教育長) 以上で予定されておりました本日の日程はすべて終了いたしました。これをもちまして、上尾市教育委員会第1回臨時会を閉会いたします。たいへんお疲れ様でした。

平成30年9月25日 署名委員 内田 みどり